

为了加深对遗华日本人理解的论坛会

中国残留邦人等への 理解を深める シンポジウム

入場無料
定員450名

事前申し込み制
※申し込み多数の
場合は抽選

戦後70年が経過し、戦後生まれの世代が人口の8割を超えている現在、中国残留邦人等への理解を深め、次世代へ語り継ぐ機会としてシンポジウムを開催します。

日時 平成27年 **11月14日(土)**
13:00~17:00(開場12:30)

会場 **京都市西文化会館ウエスティ**
京都市西京区上桂森下町31番地の1

知っていますか？
中国残留邦人等のこと



オープニング公演



『吉林食堂 ~おはぎの美味しい中華料理店~』

1945年、日本の敗戦で混乱する満州で、主人公・博(6歳)は、母とはぐれて孤児となるが、中国人養父母に育てられ、長じてコックとして身を立てる。

1983年、「中国残留孤児帰国事業」により2人の子どもを連れて帰国した博は、生母・マサの住む佐賀に身を寄せたが、仕事がうまくいかず福岡で小さな中華料理屋を開く。

一方、マサは戦後の満州を生き延びるために博の妹・さと子(2歳)を見殺しにしたと思ひ込み、良心の呵責の中で戦後を生きてきたのだった…。

パネルディスカッション



コーディネーター

大谷 昭宏氏
(ジャーナリスト)

元読売新聞大阪社会部記者。「春美16歳の日本・中国残留孤児二世の青春」等の著者。

プログラム

13:00	開会のご挨拶
13:10	オープニング公演 NPO法人劇団道化 『吉林食堂 ~おはぎの美味しい中華料理店~』
15:05	休憩
15:20	パネルディスカッション ＜コーディネーター＞ 大谷 昭宏氏(ジャーナリスト) ＜パネリスト＞ 中国からの帰国者の皆さん
16:50	京都大学音楽研究会ハイマート合唱団による合唱
17:00	閉会

このシンポジウムは、日本語から中国語への同時通訳を行います。
这次活动中进行日中的同步翻译。

● 会場では、併せて**パネル展示**も行います。●

お申し込み

●ホームページ、FAXまたは郵送にて、事前にお申し込みください。
(定員450名、申し込み多数の場合抽選)

申込締切 **10月29日(木)必着**(※ホームページは17:00まで)

●聴講券を送付いたしますので、当日必ず持参してください。

詳しいお申し込み方法は下記ホームページをご覧ください。

<http://comm.stage.ac/zanryusympo2015/>

お問い合わせ

「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」事務局 〒171-0042 東京都豊島区高松1-1-11(株式会社ステージ内)
TEL: 03-3958-5215(平日10:00~18:00) FAX: 03-5966-5773 E-mail: zanryuhojin2015@stage.ac

主催  厚生労働省

後援 京都府、京都府教育委員会
京都市、京都市教育委員会

中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム

中国残留邦人等とは

1945年(昭和20年)当時、中国東北地区(旧満州地区)には開拓団など多くの日本人が居住していましたが、同年8月9日、突然のソ連参戦により、人々は居住地を追われ、逃避中や収容所では飢餓や伝染病等により死亡者が続出するという悲惨な状況にありました。

このような混乱の中、肉親と離別して孤児となり中国の養父母に育てられたり、中国人の妻になるなどしてやむなく中国に留まった方々を「中国残留邦人」といいます。

※残留邦人の一部には、樺太や旧ソ連本土に残留されていた方もいることから「中国残留邦人等」と総称しています。

支援の現状とシンポジウム

国や自治体では、1972年(昭和47年)の日中国交正常化以降、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進と定着後の自立を支援するため、身元調査などの永住帰国の支援や、各種研修施設での日本語研修などを行ってきました。一方で、中国残留邦人等の方は、長期の残留により言葉、生活習慣、就労等の面でさまざまな困難に直面していました。

これを受け、2008年(平成20年)4月から「新たな支援」として、中国残留邦人等のうち一定の条件を満たす方に対して「満額の老齢基礎年金等の支給」と「支援給付の支給」を、また全ての中国残留邦人等の方々に對して「地域社会における生活支援」を開始しました。

さらに、2014年10月から中国残留邦人等の方が亡くなられた特定配偶者に対して配偶者支援金の支給を開始しました。

今回のシンポジウムは、地域社会での支援の要となる地域住民の皆さまに中国残留邦人等への理解を深めていただくとともに、次代を担う若者に中国残留邦人等の方々の経験を語り継ぐことを目的として開催します。

出演者プロフィール

コーディネーター 大谷 昭宏氏 (ジャーナリスト)

元読売新聞大阪社会部記者。1987年読売新聞退社後は大阪に事務所を設けてジャーナリズム活動を展開している。「キャスト(朝日放送)」「ひるおび!」(TBS)などに出演中。著書に「吉林食堂〜おはぎの美味しい中華料理店〜」の原作ノンフィクション「春美16歳の日本-中国残留孤児二世の青春」や「事件記者という生き方」、「冤罪の恐怖」などがある。



パネリスト 大中 はつ彘氏 (帰国者1世)

京都府天田郡三岳村(現福知山市)生まれ。1945年6月、家族で第二天田開拓団に加わり中国三江省に入植。ハルビンへ避難するも、家族を失う。8歳で中国人養父母に引き取られ、24歳で結婚。1979年、夫と子供4人で永住帰国。現在は週1回日本語教室で日本語を学ぶ。子供の時、「学校に行けなかったことが悔しい」と学習に励んでいる。



パネリスト 新津 春子氏 (帰国者2世)

1970年中国・瀋陽出身。1987年に一家で帰国。高校に通いながら家計を支えるために清掃のアルバイトを始める。1997年、全国ビルクリーニング技能競技会にて最年少優勝を果たす。国際空港評価で空港の清潔さや快適さを評価する部門において2年連続世界1位を受賞した羽田空港で、清掃員500人のリーダーとして勤務。



パネリスト 谷内 辰氏 (帰国者3世)

1982年生まれ。2000年18歳の時、家族とともに永住帰国。大阪の帰国者センターにて日本の文化や日本語を勉強。2006年京都の大学を卒業後、中国北京に留学し、国際法を学ぶ。2009年より2015年まで商社マンとして勤務後、家族との時間を求めて、現在は警備会社の営業職として勤務。

参加申込方法 申込締切: 10月29日(木) 必着 (※ホームページは17:00まで)

■ ホームページ、FAX、郵送でお申し込みください。

※ このシンポジウムは、日中同時通訳を行います。ご希望の方には、当日会場でレシーバーをお貸しいたしますので、参加お申し込み時に、合わせてお申し込みください。

这次活动中进行日中的同步翻译。当天,向需要者出借同步翻译的接收器,请在参加活动报名表上,同时填写接收器的申请。

※ 「聴講券」をお送りいたしますので当日受付までお持ちください。※ お申し込み多数の場合は抽選になります。

ホームページ 右記URLからご応募ください。 <http://comm.stage.ac/zanryusympo2015/>

郵送

下記お申し込みフォームにご記入の上封書、またはハガキに下記①～⑨の事項をご記入の上、事務局宛てにお送りください。

①ご氏名(ふりがな)、②ご住所、③電話番号、④FAX番号、⑤Eメールアドレス、⑥性別、⑦年齢、⑧ご職業、⑨中国語同時通訳の要・不要

「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」事務局 〒171-0042 東京都豊島区高松1-1-11(株式会社ステージ内)

FAX

下記お申し込みフォームにご記入の上、ご送信ください。

お問い合わせ

「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」事務局 〒171-0042 東京都豊島区高松1-1-11(株式会社ステージ内)
TEL: 03-3958-5215 FAX: 03-5966-5773(平日10:00~18:00) E-mail: zanryuhojin2015@stage.ac

咨询处

中国語 TEL: 06-6361-6114 近畿中国帰国者支援・交流センター(平日10:00~18:00)

お申し込みフォーム

FAX送信先 **03-5966-5773**

アスタリスク(*)のついた項目は必ずご記入ください。切り取らずにこのままFAXしてください。

ご氏名 *	(ふりがな)	性別	年齢
	姓		
ご住所 *			
TEL *	FAX *		
E-mail			
ご職業	中国語同時通訳	要・不要	

※ シンポジウムのお申し込みには、お名前の登録が必要となります。複数でのお申し込みの場合は、コピーをお取りになり人数分ご記入いただくか、別紙に同じ事項をご記入の上お申し込みください。

<個人情報の取り扱いについて> ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、聴講券を送付するための連絡先情報及びご本人確認のための情報として利用させていただきます。ご本人の同意なしにその他の目的での利用・提供はいたしません。